

2010年 大会記録

国際

◇ヤリギン国際大会（1月29～31日、ロシア・クラスノヤルスク）

《男子フリースタイル》▼55kg級 田岡秀規（自衛隊）＝3位、稲葉泰弘（警視庁）＝5位、▼60kg級 小田裕之（国士舘大）＝2位、高塚紀行（日大コーチ）＝3位、▼66kg級 池松和彦（福岡大助手）＝三失、佐藤吏（ALSOK 総合警備保障）＝二失、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝二失、高橋龍太（自衛隊）＝二失

《女子》▼51kg級 甲斐友梨（アイシン・エイダブリュ）＝優勝、▼59kg級 山名慧（アイシン・エイ・ダブリュ）＝3位、▼55kg級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝二失、▼63kg級 山本聖子（スポーツビズ）＝優勝、▼67kg級 新海真美（アイシン・エイ・ダブリュ）＝5位

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月4～6日、米国・コロラドスプリングズ）

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝3位、峯村亮（神奈川大職）＝四失、▼60kg級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）＝2位、笹本睦（ALSOK 総合警備保障）＝4位、▼66kg級 岡本佑士（拓大）＝五失、▼84kg級 天野雅之（中大）＝三失、斎川哲克（両毛ヤクルト販売）＝6位、▼96kg級 北村克哉（F E G）＝三失、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）＝6位

《男子フリースタイル》▼55kg級 湯元進一（自衛隊）＝優勝、▼60kg級 湯元健一（ALSOK 総合警備保障）＝5位、石田智嗣（早大）＝四失、▼66kg級 藤本浩平（警視庁）＝4位、森川一樹（山梨学院大）＝四失、▼84kg級 松本真也（警視庁）＝4位、▼96kg級 磯川孝生（徳山大職）＝三失、▼120kg級 下中隆広（国士舘大大学院）＝四失、荒木田進謙（専大）＝三失

◇ニコラ・ペトロフ国際大会＝男子グレコローマン（2月27～28日、ブルガリア・ブルガス）

▼55kg級 大谷康太（専大）＝5位、▼60kg級 牧瀬裕樹（東洋大）＝5位、▼66kg級 岡本佑士（拓大）＝3位、▼74kg級 中井伸一（中大）＝10位、▼84kg級 岡太一（拓大）＝8位、▼96kg級 藤本健治（拓大）＝3位、▼120kg級 河野隆太（青山学院大）＝4位

◇ダン・コロフ国際大会=男子フリースタイル（2月27～28日、ブルガリア・ブルガス）

ス）

▼55kg級 須藤学（日大）=8位、▼60kg級 内村勇太（拓大）=7位、▼66kg級 石田智嗣（早大）=5位、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）=11位、▼84kg級 山口剛（早大）=15位、▼96kg級 金澤勝利（山梨学院大）=5位、▼96kg級 入江泰久（神奈川大）=5位、▼120kg級 荒木田進謙（専大）=5位

◇クリッパン女子国際大会（3月5～7日、スウェーデン・クリッパン）

《シニア・ジュニア》▼48kg級 中谷亜依（山口・防府高）=二失、我満愛子（青森・青森商高）=二失、鈴木美織（東京・安部学院高）=四失、▼51kg級 田中亜里沙（埼玉・埼玉栄高）=二失、▼55kg級 浜田千穂（東京・日本工大駒場高）=2位、▼59kg級 斉藤貴子（自衛隊）=2位、加藤優希（東京・安部学院高）=5位、▼63kg級 高村愛（大阪・堺女子高）=二失、▼67kg級 橋本千紘（東京・安部学院高）=二失、新井明恵（群馬・富岡実高）=二失

《カデット》▼43kg級 岡本佳子（福岡・北九州クラブ）=優勝、坂上楓舞希（千葉・八木が谷中）=2位、奥野里菜（三重・久居西中）=3位、▼46kg級 宮原優（JOCアカデミー）=優勝、▼49kg級 川井梨紗子（石川・津幡中）=優勝、▼52kg級 金子和（群馬・大泉高）=優勝、▼56kg級 坂野結衣（大阪・青山台中）=優勝、花田彩乃（JOCアカデミー）=三失、▼60kg級 古市雅子（JOCアカデミー）=3位、鈴木紅夏（群馬・殖蓮中）=四失、村田夏南子（JOCアカデミー／東京・安部学院高）=棄権、▼65kg級 土性沙羅（三重・鎌田中）=優勝、▼70kg級 市川ゆりか（愛知・日進東中）=二失

◇ハンガリー・カップ=男子グレコローマン（3月6～7日、ハンガリー・カップ）

▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）=3位、峯村亮（神奈川大職）=12位、清水早伸（自衛隊）=21位、▼60kg級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）=三失、倉本一真（山梨学院大）=一失、▼66kg級 藤村義（自衛隊）=優勝、岡本佑士（拓大）=10位、▼74kg級 角功介（自衛隊）=一失、▼84kg級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）=一失

◇メドベジ国際大会=男子フリースタイル（3月12～13日、ベラルーシ・ミンスク）

▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁）=5位、湯元進一（自衛隊）=二失、▼60kg級 小田裕之（国士舘大）=5位、湯元健一（ALSOK 総合警備保障）=優勝、高塚紀行（日大コーチ）=棄権、▼66kg級 佐藤吏（ALSOK 総合警備保障）=一失、小島豪臣（K-POWER S）=5位、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）=一失、▼84kg級 松本真也（警視庁）=5位

◇世界グラップリング選手権・世界パンクラチオン選手権（3月27～28日、ポーランド・クラクフ）

ド・クラクフ）

《グラップリング No-Gi》▼70kg 級 八隅孝平（ロータスパラエストラ世田谷）＝9位、▼90kg 級 久能孝徳（太田章ク）＝2位

《グラップリング Gi》▼90kg 級 久能孝徳（太田章ク）＝優勝

《パンクラチオン》▼無差別 山田崇太郎（Brave）＝優勝、白井正良（キャストトランスポート）＝7位

◇ワールドカップ＝女子（3月27～28日、中国・南京）

3位

予選1回戦 日本● [3-4] ○中国

予選2回戦 日本○ [6-1] ●ロシア

予選3回戦 日本○ [6-1] ●カナダ

3位決定戦 日本○ [5-2] ●ウクライナ

《個人順位》▼48kg 級 三村冬子（日大）＝5位、▼51kg 級 甲斐友梨（アイシン・エイ・ダブリュ）＝4位、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼59kg 級 正田絢子（京都・網野高教）＝優勝、▼63kg 級 伊調 馨（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼67kg 級 新海真美（アイシン・エイ・ダブリュ）＝4位、▼72kg 級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝3位

◇アジア選手権（5月12～16日、インド・ニューデリー）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 湯元進一（自衛隊）＝優勝、▼60kg 級 前田翔吾（ニューギン）＝2位、▼66kg 級 佐藤吏（ALSOK 総合警備保障）＝13位、▼74kg 級 長島和幸（クリナップ）＝7位、▼84kg 級 松本真也（警視庁）＝3位、▼96kg 級 磯川孝生（徳山大職）＝3位、▼120kg 級 下中隆広（国士舘大大学院）＝9位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 峯村亮（神奈川大職）＝9位、▼60kg 級 倉本一真（自衛隊）＝11位、▼66kg 級 清水博之（自衛隊）＝13位、▼74kg 級 角功介（自衛隊）＝13位、▼84kg 級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）＝2位、▼96kg 級 北村克哉（FEG）＝9位、▼120kg 級 新庄寛和（自衛隊）＝7位

《女子》▼48kg 級 三村冬子（日大）＝2位、▼51kg 級 桜井宏美（代々木ク）＝3位、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝2位、▼59kg 級 伊藤友莉香（環

太平洋大) = 3位、▼63kg級 山本聖子(スポーツビズ) = 3位、▼67kg級 飯島千晶(日大) = 優勝、▼72kg級 井上佳子(至学館大) = 3位

◇G・カルトジア&V・バラバーゼ国際大会=男子グレコローマン(6月5~7日、グルジア・トビリシ)

▼60kg級 松本隆太郎(群馬ヤクルト販売) = 三失、▼74kg級 金久保武大(マイスポーツ) = 二失

◇アジア・ジュニア選手権(6月11~14日、中国・黄山)

《男子フリースタイル》▼50kg級 竹田展大(専大) = 3位、▼55kg級 入江真司(国士舘大) = 5位、▼60kg級 柏木健太(早大) = 12位、▼66kg級 長谷川公俊(神奈川大) = 3位、▼74kg級 嶋田裕大(国士舘大) = 5位、▼84kg級 細谷翔太郎(日大) = 3位、▼96kg級 金澤勝利(山梨学院大) = 3位、▼120kg級 村木孝太郎(拓大) = 4位

《男子グレコローマン》▼50kg級 水野颯(法大) = 6位、▼55kg級 大用真郷(専大) = 3位、▼60kg級 山口優(徳山大) = 5位、▼66kg級 高井紳之助(国士舘大) = 5位、▼74kg級 山口高幸(徳山大) = 7位、▼84kg級 奥田啓介(拓大) = 11位、▼96kg級 赤嶺希(青山学院大) = 5位、▼120kg級 原口卓也(山梨学院大学) = 7位

《女子》▼44kg級 加賀美祐紀(明大) = 5位、▼48kg級 阿部千波(愛知・至学館高) = 優勝、▼51kg級 田中亜里沙(埼玉・埼玉栄高) = 2位、▼55kg級 浜田千穂(東京・日本工大駒場高) = 優勝、▼59kg級 村田夏南子(JOCアカデミー/東京・安部学院高) = 優勝、▼63kg級 佐藤文香(至学館大) = 2位、▼67kg級 橋本千紘(東京・安部学院高) = 優勝、▼72kg級 新井 明恵(法大) = 5位

◇ゴールデン・グランプリ決勝大会(7月16~18日、アゼルバイジャン・バクー)

《男子フリースタイル》▼55kg級 湯元進一(自衛隊) = 優勝、▼55kg級 稲葉泰弘(警視庁) = 5位、▼60kg級 前田翔吾(ニューギン) = 9位、▼60kg級 小田裕之(国士舘大) = 14位、▼66kg級 小島豪臣(K-POWERS) = 15位、▼74kg級 長島和幸(クリナップ) = 15位

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平(福一漁業) = 2位、▼66kg級 岡本佑士(拓大) = 5位、▼74kg級 金久保武大(マイスポーツ) = 11位

《女子》▼48kg級 鈴木綾乃(ジャパンビバレッジ) = 2位、▼51kg級 甲斐友梨(アイシン・エイ・ダブリュ) = 7位、▼55kg級 松川知華子(ジャパンビバレッジ) = 3位、

▼59kg級 山名慧 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 3位、▼59kg級 斎藤貴子 (自衛隊) = 5位、▼63kg級 工藤佳代子 (自衛隊) = 7位、▼67kg級 新海真美 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 2位

◇世界ジュニア選手権 (7月20～25日、ハンガリー・ブダペスト)

《男子フリースタイル》▼50kg級 竹田展大 (専大) = 8位、▼55kg級 矢後匡平 (日大) = 7位、▼60kg級 鈴木康寛 (拓大) = 3位、▼66kg級 田中幸太郎 (早大) = 2位、▼74kg級 葉沢謙 (国士舘大) = 18位、▼84kg級 殿村幸城 (早大) = 23位、▼96kg級 馬場貴大 (専大) = 12位、▼120kg級 岡倫之 (日大) = 11位

《男子グレコローマン》▼50kg級 合谷成喜 (日本文理大) = 3位、▼55kg級 青木成樹 (青山学院大) = 24位、▼60kg級 川村悠人 (国士舘大) = 19位、▼66kg級 花山和寛 (早大) = 23位、▼74kg級 福田翼 (拓大) = 10位、▼84kg級 横沢徹 (拓大) = 21位、▼96kg級 大坂昂 (早大) = 13位、▼120kg級 前川勝利 (茨城・霞ヶ浦高) = 10位

《女子》▼44kg級 小柳絵里 (環太平洋大) = 8位、▼48kg級 長沼美香 (至学館大) = 8位、▼51kg級 平野遥香 (日大) = 2位、▼55kg級 堀内優 (日大) = 優勝、▼59kg級 村田夏南子 (JOCアカデミー／東京・安部学院高) = 3位、▼63kg級 渡利璃穂 (至学館大) = 9位、▼67kg級 飯島千晶 (日大) = 3位、▼72kg級 立光志織 (王子自動車学校) = 8位

◇アジア・カデット選手権 (7月30日～8月1日、タイ・バンコク)

《男子フリースタイル》▼42kg級 高橋拓也 (三重・いなベクラブ) = 5位、▼46kg級 松宮大樹 (三重・いなベクラブ) = 7位、▼50kg級 青木祐聡 (岐阜・岐南工高) = 11位、▼54kg級 中村弦斗 (京都府・京都八幡高) = 8位、▼58kg級 荻原皐希 (静岡・沼津城北高) = 9位、▼63kg級 岡平侑磨 (香川・多度津高) = 7位、▼69kg級 白井勝太 (東京・稲付中／JOCアカデミー) = 3位、▼76kg級 谷崎真也 (埼玉・埼玉栄高) = 8位、▼85kg級 武田光司 (埼玉・川柳中) = 5位、▼100kg級 鳴本光希 (岡山・笠岡工高) = 5位

《男子グレコローマン》▼42kg級 高田祐希 (奈良・斑鳩中) = 計量失格、▼46kg級 文田健一郎 (山梨・韮崎西中) = 2位、▼50kg級 小坂篤志 (長野・北佐久農高) = 10位、▼54kg級 有延大輝 (福岡・築上西高) = 5位、▼58kg級 田中勇氣 (京都府・南京都高) = 5位、▼63kg級 中村百次郎 (佐賀・鹿島実高) = 8位、▼69kg級 石田稔賢 (岐阜・岐阜工高) = 7位、▼76kg級 角雅人 (佐賀・鳥栖工高) = 7位、▼85kg級 林龍之介

(山梨・韮崎工高) = 8位、▼100kg級 津田大健(愛媛・八幡浜工高) = 3位

《女子》▼43kg級 奥野里菜(三重・一志ジュニア教室) 3位、▼46kg級 宮原優(東京・安部学院高/JOCアカデミー) = 優勝、▼49kg級 入江ななみ(福岡・小倉商高) = 優勝、▼52kg級 増田奈千(大阪府・堺女子高) = 優勝、▼56kg級 坂野結衣(東京・安部学院高) 優勝、▼60kg級 鈴木紅夏(群馬・太田商高) = 2位、▼65kg級 土屋亜希帆(神奈川・日本大学藤沢高) = 3位、▼70kg級 阿部梨乃(東京・安部学院高) = 優勝

◇ピトラシンスキ国際大会=男子グレコローマン(7月31日~8月1日、ポーランド・ラシボルツ)

▼55kg級 尾形翼(山形県協会) = 9位、▼60kg級 谷岡泰幸(自衛隊) = 7位、▼60kg級 横山巧(岡山県協会) = 18位、▼74kg級 金久保武大(マイスポーツ) = 25位、▼84kg級 斎川哲克(両毛ヤクルト販売) = 17位

◇オールドス国際ナダム・スポーツ大会(8月13日、中国・オールドス)

《男子フリースタイル》▼60kg級 湯元健一(ALSOK) = 優勝、▼74kg級 高橋龍太(自衛隊) = 優勝、▼96kg級 下屋敷圭貴(NEWS DERI) = 6位

《女子》▼51kg級 田中亜里沙(埼玉・埼玉栄高) = 優勝、▼59kg級 島田佳代子(自衛隊) = 優勝、▼67kg級 立光志織(王子自動車学校) = 2位

◇ユース五輪(8月15~17日、シンガポール)

《男子フリースタイル》▼54kg級 高橋侑希(三重・いなべ総合学園高) = 優勝

《女子》▼46kg級 宮原優(JOCアカデミー/東京・安部学院高) = 優勝

◇スポーツ・アコード・コンバット・ゲームズ(9月1日、中国・北京)

《女子》▼48kg級 = 派遣なし、▼55kg級 松川知華子(ジャパンビバレッジ) = 2位、▼63kg級 工藤佳代子(自衛隊) = 5位、▼72kg級 鈴木博恵(立命館大) = 2位

《グラップリング No-Gi》▼90kg級 久能孝徳(チーム太田章) = 5位、▼90kg級 白井正良(キャストトランスポート) = 8位

《パンクラチオン》▼80kg級 山田崇太郎(Brave) 4位、▼90kg級 白井正良(キャストトランスポート) = 8位

◇世界選手権（9月6～12日、ロシア・モスクワ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁）＝3位、▼60kg級 小田裕之（国士舘大）＝23位、▼66kg級 米満達弘（自衛隊）＝23位、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝28位、▼84kg級 松本篤史（ALSO K）＝11位、▼96kg級 磯川孝生（徳山大職）＝17位、▼120kg級 下中隆広（国士舘大ク）＝25位

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝16位、▼60kg級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）＝2位、▼66kg級 藤村義（自衛隊）＝20位、▼74kg級 金久保武大（マيسポーツ）＝5位、▼84kg級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）＝20位、▼96kg級 北村克哉（ドン・キホーテ）＝20位、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）＝26位

《女子》▼48kg級 坂本日登美（自衛隊）＝優勝、▼51kg級 堀内優（日大）＝2位、▼55kg級 吉田沙保里（ALSO K）＝優勝、▼59kg級 正田絢子（京都・網野高教）＝3位、▼63kg級 伊調馨（ALSO K）＝優勝、▼67kg級 新海真美（アイシン・エイ・ダブリュ）＝5位、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝3位

◇サンキスト・オープン（10月23～24日、米国・フェニックス）

《男子フリースタイル》▼55kg級 守田泰弘（山口県協会）＝優勝、▼60kg級 清水聖志人（日体大教）＝4位、▼66kg級 小島豪臣（K-POWERS）＝優勝、藤本浩平（警視庁）＝2位、▼74kg級 高橋龍太（自衛隊）＝五失、▼96kg級 下屋敷圭貴（NEWS DERI）＝二失、▼120kg級 桜井紀宏（本間組）＝二失

《男子グレコローマン》▼55kg級 波多野鉄兵（関西学院ク）＝5位、▼60kg級 倉本一真（自衛隊）＝3位、城戸義貴（自衛隊）＝2位、▼66kg級 清水博之（自衛隊）＝優勝、▼74kg級 角功介（自衛隊）＝四失、▼96kg級 福田広樹（自衛隊）＝5位、▼120kg級 曾我部健（日亜化学工業）＝4位

《女子》▼48kg級 鈴木綾乃（ジャパンビバレッジ）＝5位、▼55kg級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼59kg級 島田佳代子（自衛隊）＝2位、中田絵理子（フオンテーヌ）＝5位、▼63kg級 工藤佳代子（自衛隊）＝優勝

◇世界学生選手権（10月26～30日、イタリア・トリノ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 須藤学（日大）＝5位、▼60kg級 内村 勇太（拓大）＝優勝、▼66kg級 石田智嗣（早大）＝優勝、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）＝7位、

▼84kg級 松本篤史 (ALSOK=日体大OB) = 9位、▼96kg級 黒川渉 (高田道場滋賀=日体大OB) = 11位、▼120kg級 相沢優人 (日大) = 12位

《男子グレコローマン》▼55kg級 尾形翼 (山形県協会=日体大OB) = 8位、▼60kg級 横山巧 (岡山県協会=日体大OB) = 3位、▼66kg級 岡本佑士 (拓大) = 10位、▼74kg級 中井伸一 (中大) = 18位、▼84kg級 岡太一 (拓大) = 5位、▼96kg級 龍田太一 (神奈川大) = 9位、▼120kg級 河野隆太 (青山学院大クラブ) = 9位

《女子》▼48kg級 明尾弥紀 (環太平洋大) = 優勝、▼51kg級 清水愛 (東洋大) = 3位、▼55kg級 新井千明 (早大) = 9位、▼59kg級 伊藤友莉香 (環太平洋大) = 2位、▼63kg級 高橋海里奈 (早大) = 3位、▼67kg級 飯島千晶 (日大) = 7位、▼72kg級 鈴木博恵 (立命館大OG) = 2位

◇アジア大会 (11月21~26日、中国・広州)

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘 (警視庁) = 3位、▼60kg級 小田裕之 (国士舘大) = 2位、▼66kg級 米満達弘 (自衛隊) = 優勝、▼74kg級 長島和幸 (クリナップ) = 2位、▼84kg級 松本篤史 (ALSOK) = 8位、▼96kg級 磯川孝生 (徳山大職) = 3位、▼120kg級 荒木田進謙 (専大ク) = 11位

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平 (福一漁業) = 優勝、▼60kg級 松本隆太郎 (群馬ヤクルト販売) = 3位、▼66kg級 藤村義 (自衛隊) = 3位、▼74kg級 鶴巻宰 (自衛隊) = 2位、▼84kg級 斎川哲克 (両毛ヤクルト販売) = 11位、▼96kg級 北村克哉 (ドン・キホーテ) = 7位、▼120kg級 新庄寛和 (自衛隊) = 7位

《女子》▼48kg級 坂本日登美 (自衛隊) = 3位、▼55kg級 吉田沙保里 (ALSOK) = 優勝、▼63kg級 西牧未央 (至学館大学院) = 7位、▼72kg級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 3位

国内

◇全国高校選抜大会 (3月27~29日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦 (2年連続18度目)、[2] 静岡・飛龍、[3] 秋田・秋田商、熊本・玉名工

《個人戦優勝者》▼50kg級 山崎達哉 (東京・自由ヶ丘)、▼55kg級 高橋侑希 (三重・いなべ総合)、▼60kg級 鴨居正和 (香川・香川中央)、▼66kg級 保坂健 (埼玉・

埼玉栄)、▼74kg級 坂本悠太(茨城・霞ヶ浦)、▼84kg級 松野裕也(茨城・霞ヶ浦)、▼96kg級 山本康稀(埼玉・花咲徳栄)、▼120kg級 前川勝利(茨城・霞ヶ浦)

◇ジュニアクイーンズカップ(4月3~4日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》、▼44kg級 小柳絵里(環太平洋大)、▼48kg級 明尾弥紀(環太平洋大)、▼51kg級 堀内優(日大)、▼55kg級 浜田千穂(東京・日本工大駒場高)、▼59kg級 伊藤友莉香(環太平洋大)、▼63kg級 渡利璃穂(至学館大)、▼67kg級 飯島千晶(日大)、▼72kg級 立光志織(王子自動車学校)

《カデット優勝者》、▼43kg級 辻彩香(大阪・堺女高)、▼46kg級 宮原優(JOCアカデミー/東京・安部学院高)、▼49kg級 川井梨紗子(愛知・至学館高)、▼52kg級 菅原ひかり(愛知・至学館高)、▼56kg級 坂野結衣(東京・安部学院高)、▼60kg級 伊藤彩香(愛知・至学館高)、▼70kg級 市川ゆりか(愛知・至学館高)

◇JOC杯ジュニアオリンピック(4月24~25日、神奈川・横浜文化体育館)

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 山崎拓馬(静岡・飛龍高)、▼55kg級 矢後匡平(日大)、▼60kg級 鈴木康寛(拓大)、▼66kg級 田中幸太郎(早大)、▼74kg級 二沢謙(国士舘大)、▼84kg級 殿村幸城(早大)、▼96kg級 馬場貴大(専大)、▼120kg級 岡倫之(日大)

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 合谷成喜(日本文理大)、▼55kg級 青木成樹(青山学院大)、▼60kg級 川村悠人(国士舘大)、▼66kg級 花山和寛(早大)、▼74kg級 福田翼(拓大)、▼84kg級 横沢徹(拓大)、▼96kg級 大坂昂(早大)、▼120kg級 前川勝利(茨城・霞ヶ浦高)

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 高橋拓也(三重・いなベク)、▼46kg級 松宮大樹(三重・いなベク)、▼50kg級 高谷大地(京都・網野高)、▼54kg級 高橋侑希(三重・いなべ総合学園高)、▼58kg級 川村倫平(静岡・飛龍高)、▼63kg級 伊藤和真(京都・網野高)、▼69kg級 嶋田大育(青森・青森商高)、▼76kg級 山原健太(京都・京都八幡高)、▼85kg級 吉岡靖典(埼玉・花咲徳栄高)、▼100kg級 山本康稀(埼玉・花咲徳栄高)

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 高田祐希(奈良・斑鳩中)、▼46kg級 文田健一郎(山梨・韮崎西中)、▼50kg級 小坂篤志(長野・北佐久農高)、▼54kg級 有延大輝(福岡・築上西高)、▼58kg級 田中勇氣(南京都高)、▼63kg級 中村百次郎(佐賀・鹿島実高)、▼69kg級 石田稔賢(岐阜工高)、▼76kg級 今村聖(群

馬・太田商高)、▼85kg級 桜庭正義(秋田商高)、▼100kg級 志喜屋正明(沖縄・浦添工高)

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 小柳絵里(環太平洋大)、▼48kg級 長沼美香(至学館大)、▼51kg級 平野遥香(日大)、▼55kg級 堀内優(日大)、▼59kg級 村田夏南子(JOCアカデミー/東京・安部学院高)、▼63kg級 渡利璃穂(至学館大)、▼67kg級 飯島千晶(日大)、▼72kg級 立光志織(王子自動車学校)

《女子カデット優勝者》▼38kg級 五十嵐未帆(千葉・関宿ク)、▼40kg級 坂上楓舞希(東京・GOLD KIDS)、▼43kg級 岡本佳子(福岡・北九州ク)、▼46kg級 宮原優(JOCアカデミー/東京・安部学院高)、▼49kg級 入江ななみ(福岡・北九州ク)、▼52kg級 増田奈千(大阪・堺女高)、▼56kg級 坂野結衣(東京・安部学院高)、▼60kg級 土性沙羅(愛知・至学館高)、▼65kg級 斉藤未来(千葉・西武台中)、▼70kg級 阿部梨乃(東京・安部学院高)

◇明治乳業杯全日本選抜選手権(5月1～3日、東京・代々木競技場第2体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘(警視庁)、▼60kg級 前田翔吾(ニューギン)、▼66kg級 米満達弘(自衛隊)、▼74kg級 長島和幸(クリナップ)、▼84kg級 松本篤史(ALSOK総合警備保障)、▼96kg級 磯川孝生(徳山大職)、▼120kg級 下中隆広(国士舘大大学院)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平(福一漁業)、▼60kg級 松本隆太郎(群馬ヤクルト販売)、▼66kg級 藤村義(自衛隊)、▼74kg級 金久保武大(マイスports)、▼84kg級 斎川哲克(両毛ヤクルト販売)、▼96kg級 北村克哉(FEG)、▼120kg級 新庄寛和(自衛隊)

《女子優勝者》▼48kg級 坂本日登美(自衛隊)、▼51kg級 堀内優(日大)、▼55kg級 吉田沙保里(ALSOK総合警備保障)、▼59kg級 島田佳代子(自衛隊)、▼63kg級 伊調馨(ALSOK総合警備保障)、▼67kg級 新海真美(アイシン・アイ・ダブリュ)、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ)

◇東日本学生リーグ戦(5月18～21日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

早大○ [5-2] ●拓大

(A組順位) [1] 拓大、[2] 国士舘大、[3] 東洋大、[4] 専大、[5] 青山学院大、[6] 神奈川大、[7] 法大、[8] 日体大 = 不出場

(B組順位) [1] 早大、[2] 日大、[3] 山梨学院大、[4] 中大、[5] 明大、[6]

大東大、[7] 群馬大、[8] 東農大

◇西日本学生春季リーグ戦（5月22～23日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《順位》[1] 立命館大（2季ぶり17度目）、[2] 中京学院大、[3] 徳山大、[4] 日本文理大、[5] 福岡大、[6] 同志社大、[7] 近大、[8] 桃山学院大

◇東日本学生春季新人選手権（6月8～10日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 荻原健汰（専大）、▼60kg級 中村裕貴（専大）、▼66kg級 田中幸太郎（早大）、▼74kg級 北村公平（早大）、▼84kg級 菊池峻（青山学院大）、▼96kg級 馬場貴大（専大）、▼120kg級 岡倫之（日大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 青木成樹（青山学院大）、▼60kg級 佐々木晋（拓大）、▼66kg級 花山和寛（早大）、▼74kg級 小森大祐（拓大）、▼84kg級 菊池峻（青山学院大）、▼96kg級 大坂昂（早大）、▼120kg級 坂元将悟（東洋大）

◇第1回東日本学生女子選手権（6月9日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼48kg級 三村冬子（日大）、▼51kg級 平野遥香（日大）、▼55kg級 堀内優（日大）、▼59kg級 平野翔子（東海大）、▼63kg級 歌田圭純（東洋大）、▼67kg級＝出場なし、▼72kg級＝出場なし

◇全国中学生選手権（6月12～13日、茨城県水戸市・茨城スポーツセンター）

《男子優勝者》▼38kg級 成国大志（東京・東深沢）、▼42kg級 藤波勇飛（三重・西朝明）、▼47kg級 文田健一郎（山梨・韮崎西）、▼53kg級 田辺雄史（大阪・豊中十一）、▼59kg級 水野真斗（京都・網野）、▼66kg級 白井勝太（東京・稲付）、▼73kg級 奥井真生（和歌山・上富田）、▼85kg級 武田光司（埼玉・川柳）、▼110kg級 園田平（滋賀・日野）

《女子優勝者》▼37kg級 加賀田葵夏（東京・高南）、▼41kg級 坂上楓舞希（千葉・八木が谷）、▼46kg級 岡本佳子（福岡・企救）、▼52kg級 入江くみ（福岡・横代）、▼58kg級 花田彩乃（東京・稲付）、▼64kg級 古市雅子（東京・稲付）、▼70kg級 小林由芽（茨城・竹来）

◇全日本社会人選手権（7月3～4日、山形・山形市総合SC第一体育館）

《団体戦優勝チーム》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子実業団・クラブ混成 代々木ク

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 守田泰弘（山口県協会）、▼60kg 級 清水聖志人（TEAM REVERSAL）、▼66kg 級 藤本浩平（警視庁）、▼74kg 級 小島豪臣（K-POWERS）、▼84kg 級 高橋龍太（自衛隊）、▼96kg 級 下屋敷圭貴（NEWS DERI）、▼120kg 級 桜井紀宏（本間組）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 尾形翼（山形クラブ）、▼60kg 級 城戸義貴（自衛隊）、▼66kg 級 倉本一真（自衛隊）、▼74kg 級 清水博之（自衛隊）、▼84kg 級 角功介（自衛隊）、▼96kg 級 福田広樹（自衛隊）、▼120kg 級 曾我部健（日亜化学工業）

《女子優勝者》▼48kg 級 鈴木綾乃（ジャパンビバレッジ）、▼51kg 級 桜井宏美（代々木クラブ）、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）、▼59kg 級 中田絵理子（フォンテーヌ）、▼63kg 級 島田佳代子（自衛隊）、▼69kg 級 工藤佳代子（自衛隊）、▼72kg 級 立光志織（王子自動車学校）

◇西日本学生新人戦（7月10～11日、大阪・金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 矢野幸次郎（立命館大）、▼60kg 級 安永純（日本文理大）、▼66kg 級 増谷剛（関大）、▼74kg 級 村上貴之（関大）、▼84kg 級 倉崎智大（徳山大）、▼96kg 級 柳谷将広（徳山大）、▼120kg 級 材木聖史（関学大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 桑木黎（中京学院大）、▼60kg 級 山口優（徳山大）、▼66kg 級 阪本卓真（徳山大）、▼74kg 級 山口高幸（徳山大）、▼84kg 級 村田貴雅（徳山大）、▼96kg 級 柳谷将広（徳山大）、▼120kg 級 材木聖史（関学大）

◇インターハイ（8月2～5日、沖縄・石垣市総合体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（3年連続 21 度目）、[2] 秋田・秋田商、[3] 沖縄・浦添工、静岡・飛龍

《個人戦優勝者》▼50kg 級 山崎達哉（東京・自由ヶ丘学園）、▼55kg 級 高橋侑希（三重・いなべ総合学園）、▼60kg 級 桑原諒（静岡・飛龍）、▼66kg 級 保坂健（埼玉・埼玉栄）、▼74kg 級 坂本悠太（茨城・霞ヶ浦）、▼84kg 級 松野祐也（茨城・霞ヶ浦）、▼96kg 級 山本康稀（埼玉・花咲徳栄）、▼120kg 級 前川勝利（茨城・霞ヶ浦）

◇ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権（8月8日、茨城・大洗サンビーチ）

《男子シニア優勝者》▼軽量級 後藤桂吾（山梨学院大）、▼中量級 レンチンオン・バヤラー（山梨学院大）、▼重量級 相澤優人（日大）

《男子高校生優勝者》▼軽量級 阿部宏隆（茨城・鹿島学園）、▼中量級 亀山晃寛（群馬・大泉）、▼重量級 但馬恭裕（群馬・館林）

《男子中学生優勝者》▼軽量級 石黒峻士（東京・東深沢）、▼中量級 塙慎太郎（茨城・南）、▼重量級 柳生基樹（茨城・竹来）

《女子シニア優勝者》▼軽量級 外山文子（龍ヶ崎）、▼中量級 山田祥子（スーパーシックス）、▼重量級 成國晶子（GOLD KID'S）

《女子高校生優勝者》▼軽量級 坂上惟央璃（GOLD KID'S）、▼中量級 村田夏南子（JOCアカデミー）、

《女子中学生優勝者》▼軽量級 加賀田葵夏（GOLD KID'S）、▼中量級 向田真優（JOCアカデミー）、▼重量級 花田彩乃（JOCアカデミー）

◇全国高校女子選手権（8月17日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼43kg級 伊藤千草（埼玉・埼玉栄）、▼46kg級 登坂絵莉（愛知・至学館）、▼49kg級 入江ゆき（福岡・小倉商）、▼52kg級 菅原ひかり（愛知・至学館）、▼56kg級 坂上嘉津季（愛知・至学館）、▼60kg級 村田夏南子（東京・安部学院）、▼65kg級 土性沙羅（愛知・至学館）、▼70kg級 橋本千紘（東京・安部学院）

◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼50kg級 山崎拓馬（静岡・飛龍）、▼55kg級 太田忍（山口・柳井学園）、▼60kg級 鴨居正和（香川中央）、▼66kg級 亀井駿斗（千葉・野田中央）、▼74kg級 滝沢廉太郎（新潟・北越）、▼84kg級 笹川久志（新潟・白根）、▼96kg級 志喜屋正明（沖縄・浦添工）、▼120kg級 前川勝利（茨城・霞ヶ浦）

◇全日本学生選手権（8月26～29日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 半田守（専大）、▼60kg級 石田智嗣（早大）、▼66kg級 田中幸太郎（早大）、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）、▼84kg級 鈴木聖二（専大）、▼96kg級 岡太一（拓大）、▼120kg級 相澤優人（日大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 梶雅晴（山梨学院大）、▼60kg級 内村勇太（拓大）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 武富隆（早大）、▼84kg級 岡太一（拓大）、▼96kg級 有菌拓真（山梨学院大）、▼120kg級 谷田昇大（拓大）

《女子優勝者》▼48kg級 内田奈美（東洋大）、▼51kg級 岩群安奈（至学館大） 《優勝者》▼55kg級 新井千明（早大）、▼59kg級 佐藤文香（至学館大）、▼63kg級 高橋海里奈（早大）、▼67kg級 井上佳子（至学館大）、▼72kg級 増尾優華（至学館大）

◇全日本学生王座決定戦（9月18日、東京・駒沢体育館）=決勝成績

拓大○ [4-3] ●早大

※拓大は4年ぶり2度目の優勝

◇国民体育大会（10月1～4日、千葉・佐倉市民体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 富岡直希（長野・NEWS-DERI）、▼60kg級 湯元進一（埼玉・自衛隊）、▼66kg級 小島豪臣（山口・K-POWERS）、▼74kg級 鈴木崇之（東京・警視庁）、▼84kg級 門間順輝（秋田・秋田市役所）、▼96kg級 磯川孝生（山口・徳山大職）、▼120kg級 高林努（岡山・ミヨシ商事）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 峯村亮（神奈川・神奈川大職）、▼60kg級 長谷川恒平（静岡・福一漁業）、▼66kg級 岡本佑士（静岡・拓大）、▼74kg級 藤村義（山口・自衛隊）、▼84kg級 天野雅之（福岡・中大）、▼96kg級 曾我部健（徳島・日亜化学工業）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・専大OB）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 高谷大地（京都・網野）、▼55kg級 高橋侑希（三重・いなべ総合）、▼60kg級 桑原諒（静岡・飛龍）、▼66kg級 保坂健（埼玉・埼玉栄）、▼74kg級 嶋田大育（青森・青森商）、▼84kg級 白石涼（千葉・八千代松陰）、▼96kg級 山本康稀（埼玉・花咲徳栄）、▼120kg級 宇野信之（島根・隠岐養護学教）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 山崎拓馬（静岡・飛龍）、▼55kg級 太田忍（山口・柳井学園）、▼60kg級 井上征洋（兵庫・育英）、▼66kg級 川村健太（静岡・飛龍）、▼74kg級 瀧澤廉太郎（新潟・北越）、▼84kg級 与那覇竜太（沖縄・浦添工）、▼96kg級 志喜屋正明（沖縄・浦添工）、▼120kg級 前川勝利（茨城・霞ヶ浦）

◇西日本学生選手権（10月9～11日、兵庫・西宮市薬業鳴尾浜スポーツセンター）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 桑木黎（中京学院大）、▼60kg級 角谷侑亮（立命館大）、▼66kg級 長尾明来士（近大）、▼74kg級 村上貴之（関大）、▼84kg級 北宮光洋（桃山学院大）、▼96kg級 福井裕士（天理大）、▼120kg級 岩宮貴彦（徳山大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 藤川裕介（徳山大）、▼60kg級 増谷剛（関大）、▼66kg級 寺田圭祐（日本文理大）、▼74kg級 丹識樹（徳山大）、▼84kg級 佐藤幸星（日本文理大）、▼96kg級 横井健人（中京学院大）、▼120kg級 岩宮重貴彦（徳山大）

《女子優勝者》▼67kg級 徳光千波（徳山大）

◇全日本女子オープン選手権（10月9～10日、静岡・三島市体育館）

《シニア・ジュニア優勝者》▼48kg級 西のどか（早大）、▼51kg級 明尾弥紀（環太平洋大）、▼55kg級 新井千明（早大）、▼59kg級 齊藤貴子（自衛隊）、▼63kg級 伊藤友莉香（環太平洋大）、▼67kg級 吉元清香（環太平洋大）、▼72kg級 高村愛（大阪・堺女子高）

《カデット優勝者》▼40kg級 長谷川みのり（東京・文教大付高）、▼43kg級 辻彩香（大阪・堺女子高）、▼46kg級 青野ひかる（静岡・焼津中央高）、▼49kg級 宮原優（JOCアカデミー／東京・安部学院高）、▼52kg級 金子和（群馬・大泉高）、▼56kg級 坂野結衣（東京・安部学院高）、▼60kg級 村田夏南子（JOCアカデミー／東京・安部学院高）、▼65kg級 坂本希和（愛知・至学館高）、▼70kg級 阿部梨乃（東京・安部学院高）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月14～15日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 梶雅晴（山梨学院大）、▼60kg級 内村勇太（拓大）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 中井伸一（中大）、▼84kg級 岡太一（拓大）、▼96kg級 山口剛（早大）、▼120kg級 谷田昇大（拓大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（2年連続8度目）、[2] 早大、[3] 日体大

◇全日本大学選手権（11月11～12日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 須藤学（日大）、▼60kg級 鈴木康寛（拓大）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）、▼84kg級 鈴木聖二（専大）、▼96kg級 武富隆（早大）、▼120kg級 岡太一（拓大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（2年連続4度目）、[2] 早大、[3] 日大

◇全国社会人オープン選手権（11月20～21日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 山内拓真（自衛隊）、▼60kg級 安澤薫（神奈川県協会）、▼66kg級 大沢茂樹（SRC育成選手）、▼74kg級 宮原崇（国士舘大学大学院）、▼84kg級 柴田寛（山口県体協）、▼96kg級 下屋敷圭貴（NEWS-DERI）、▼120kg級 アントニー・ブライアン・ベネロカサノバ（前川製作所）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 大谷康太（専修大学クラブ）、▼60kg級 福岡道元（島根県協会）、▼66kg級 渡辺翔太（愛媛県協会）、▼74kg級 井上智裕（兵庫・育英高教）、▼84kg級 岡本鉄平（警視庁クラブ）、▼96kg級 伊藤諒（自衛隊）、▼120kg級 河野隆太（青学クラブ）

《女子優勝者》▼48kg級 小林弘美（青学クラブ）、▼51kg級 前原愛（関大）、▼55kg級 寺尾唯（日体大）、▼59kg級＝出場なし、▼63kg級 渡部沙織（日体大）、▼67kg級 宇野杏奈（日体大）、▼72kg級＝出場なし

◇東日本学生秋季新人選手権（11月22～24日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 森下史崇（日体大）、▼60kg級 五十嵐琢磨（日体大）、▼66kg級 小石原拓馬（日体大）、▼74kg級 長谷川公俊（神奈川大）、▼84kg級 北村公平（早大）、▼96kg級 菊池峻（青山学院大）、▼120kg級 村木孝太郎（拓大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 田野倉翔太（日体大）、▼60kg級 青木成樹（青山学院大）、▼66kg級 田中幸太郎（早大）、▼74kg級 中村隆春（日体大）、▼84kg級 小森大祐（拓大）、▼96kg級 木下駿（拓大）、▼120kg級 岡倫之（日大）

◇全国中学選抜選手権（11月27～28日、東京・駒沢体育館）

《男子優勝者》▼35kg級 土井健生（大阪・山田中）、▼38kg級 成國大志（東京・東深沢中）、▼42kg級 長谷川敏裕（東京・駒留中）、▼47kg級 前田頼夢（福井・成和中）、▼53kg級 小倉強太（富山・戸出中）、▼59kg級 奥田海人（神奈川・神田中）、▼66kg級 鈴木岳登（茨城・朝日中）、▼73kg級 水野真斗（京都・網野中）、▼85kg級 武田光司（埼玉・川柳中）、▼100kg級 園田平（滋賀・日野中）

《女子優勝者》▼34kg級 川村きこ（茨城・大子中）、▼37kg級 加賀田葵夏（東京・高南中）、▼40kg級 根本美優（栃木・石橋中）、▼44kg級 坂上楓舞希（千葉・八木が谷中）、▼48kg級 岡本佳子（福岡・企救中）、▼52kg級 廣瀬瑠実（静岡・沼津二中）、▼57kg級 花田彩乃（東京・稲付中）、▼70kg級 古市雅子（東京・稲付中2）

◇西日本学生秋季リーグ戦（12月4～5日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《順位》[1] 立命館大（2季連続18度目）、[2] 中京学院大、[3] 徳山大、[4] 福岡大、[5] 日本文理大、[6] 近大、[7] 同志社大、[8] 天理大

◇全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一（自衛隊）、▼60kg級 湯元健一（ALSOK）、▼66kg級 米満達弘（自衛隊）、▼74kg級 長島和彦（クリナップ）、▼84kg級 松本真也（警視庁）、▼96kg級 磯川孝生（徳山大職）、▼120kg級 荒木田進謙（専大クラブ）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）、▼60kg級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 田村和男（早大）、▼84kg級 岡太一（拓大）、▼96kg級 北村克哉（ドン・キホーテ）、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）

《女子優勝者》▼48kg級 坂本日登美（自衛隊）、▼51kg級 堀内優（日大）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK）、▼59kg級 斉藤貴子（自衛隊）、▼63kg級 伊調馨（ALSOK）、▼67kg級 井上佳子（至学館大）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）